

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

伊勢あさくさ海苔2年ぶりの出品
最高値20,203円/100枚で落札
— 2/7(金) 松阪のり流通センター —



2月7日(金)、松阪のり流通センターにおいて開催された第5回黒のり共販にて、「伊勢あさくさ海苔®」が出品された。昨年は県内全域で黒のりの記録的な不作にみまわれ、アサクサノリも生産に至らなかったが、今年は2年ぶりの出品となった。

今年で7年目となるアサクサノリ養殖試験は、桑名地区から14名の生産者が実施し、そのうち4名が生産に至った。依然終息の気配をみせない黒潮大蛇行の影響による、高潮位、高水温とノリ養殖にとって厳しい状況が続く中での生産となり、定義に基づく遺伝子検査と食味審査の結果、今年は過去の生産枚数と比較しても少ない、24,900枚の伊勢あさくさ海苔が出品された。

入札の結果、伊曾島漁協出品の浅重優上等級が最高値20,203円(海苔100枚あたり)で落札された。これは、平成28年度の過去最高値17,000円を3,000円以上上回る結果となった。その他、別等級のあさくさ海苔にも高値の札が入り、生産数こそ少なかったものの高単価で取引された。



見付を行う仲買業者



入札会場の様子

黒のり第5回共販結果 (2/7)
枚数：17,519,800枚
平均単価：1,387円 (100枚あたり)
最高値：20,203円

青さのり初市開催
— 1/31(金) 松阪のり流通センター —

1月31日(金)、松阪のり流通センターにおいて、第1回青さのり共販が開催された。当初初市は1月17日開催予定であったが、高水温の影響か県内生産地では生育が遅れており出品数量がまとまらず延期となっていた。

入札では、三重外湾漁協出品の中津浜浦産203kgが最高値8,707円(1kgあたり)をつけるなど、活気にあふれる初市となった。以下、共販結果。

青さのり共販結果 (1/31)

数量：9,481 kg
平均単価：5,284 円 (1 kgあたり)
最高値：8,707 円

**2019年度
決算税務研修会開催**
— 2/10(月) 水産会館 —



2月10日(月)、津市水産会館内において2019年度決算税務研修会が開催され、県内の漁協職員らおよそ20人が参加した。

研修内容は、津税務署柳瀬氏より、軽減税率制度の導入に伴う変更点や申告書の作成方法等の説明がなされた。また、JF全漁連信用組織指導部と三重県農林水産部漁業環境課からは、業務報告書作成に関する説明がなされた。

説明を聞いた参加者は、法令規則や提出様式等の確認を行うとともに、制度改正に伴う変更点などを中心に熱心に聞いている様子がみられた。

**漁船リース事業・機器導入事業
セーフティーネット事業説明会
ご案内**

【日時・場所】

2020年2月17日(月) 13時30分～
三重県水産会館 4階 会議室

【問い合わせ先】

三重県漁連指導部 (059-228-1205)
小林・上野 まで

【主な予定】

○2月14日(金)

青さのり第2回汐(松阪)

○2月17日(月)

令和元年度補正予算漁船リース事業・機器導入事業および令和2年度セーフティーネット事業説明会(津)

○2月19～20日

第45回全国海水養殖シンポジウム(長崎)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。